

がつ こみ ぎょうじ しゅうかん
11・12月の暦、行事・習慣あれこれ

にほん ほうりつ さだ こくみん しゅくじつ ねんかん にち
日本の法律で定められた「国民の祝日」は、年間に15日あり
にちようび かさ ぼあい げつようび ぶりかえきゅうじつ
ますが、日曜日と重なった場合は、月曜日が「振替休日」となり
ことし みつか でんどうてき ぎょうじ しゅうかん
ます(*今年は3日)。伝統的な行事や習慣とともに、あらためて
いみ もくてき かくにん
その意味や目的を確認してみましょう。

こくみん しゅくじつ きゅうじつ
■国民の祝日・休日：

ぶんか ひ がつみつか ど じゅう へいわ あい ぶんかてき
《文化の日》11月3日(土)：「自由と平和を愛し、文化的な
かつどう たいせつ し ひ ほくぶつかん びじゅつかん
活動をすすめる」ことの大切さを知る日。【*博物館・美術館で
とくべつてん きかくてん さまざま おんがくかい がっこう こうみんかん ぶんかさい かくちいき まつ
特別展・企画展、様々な音楽会、学校や公民館などで文化祭、各地域でお祭
り、その他イベントいろいろ】

きんろうかんしゅ ひ がつ にち きん はたら たいせつ おも
《勤劳感謝の日》11月23日(金)：「働くことを大切に思い、
さまさま しゅうかく せいさん いわ こくみん かんしゅ
様々な収穫や生産を祝い、国民がたがいに感謝しあう」ための
ひ ちいき みせ じんじゅ さまざま かんしゅさい もみじ
日。【*いろいろな地域や店、神社などで、様々な感謝祭、紅葉まつり、フード
フェスティバルなど】

てんのうたんじょうび がつ にち にち ぶりかえきゅうじつ にじゅうよっか げつ
《天皇誕生日》12月23日(日)⇒《振替休日》24日(月)：
てんのう たんじょうび いわ ひ れいねん にち こうきよ いっばんさんが おこな
「天皇の誕生日を祝う」日。【*例年、23日に皇居で一般参賀が行わ
てんのうへいか ごせんちゅう こうごうへいか こうそく かがたき とも きゅうでん
れる。天皇陛下が、午前中、皇后陛下をはじめとする皇族の方々と共に、宮殿
のペランダにお出ましになり(現れ)、お祝いに集まったたくさんの人々に手を
ふ こと た てんのうへいか ことし さい
振って応えられる。(*天皇陛下は、今年79歳になられる。)]

でんどうてき ぎょうじ しゅうかん
■伝統的な行事や習慣あれこれ

しちごさん おどこ こ さい さい おんな こ さい さい とし
《七五三》男の子は3歳と5歳、女の子は3歳と7歳の年の11
がつ にち こ せいちよう いわ かぞく じんじゅ てら まい
月15日に、子どもの成長を祝って家族で神社やお寺にお参りする
ねんちゅうぎょうじ さいきん がつ にち ぜんご つごう よ
年中行事。【*最近、11月15日にこだわらず、その前後の都合の良い
ひ まい かぞく おお くわ ほ ぎ き ちとせおも も こ
日にお参りする家族が多い。加えて、晴れ着を着て千歳飴を持った子どもの
きねんしやしん と かぞく しょくじかい いわ かぞく おお
記念写真を撮ったり、家族で食事会をするなどしてお祝いをする家族も多い。】

せいぼ とし く ひし せわ しん ひと しん
《お歳暮》年の暮れに、日ごろお世話になっている人や親せきな
かんしゅ きち おく もの しゅうかん ほんらい がつ
どに、感謝の気持ちをこめて贈り物をする習慣。【*本来は、12月
とうか はつかごころ ちよくせつほうもん とど せいしき さいきん
10日から20日頃に、直接訪問して届けるのが正式なマナーだったが、最近
みせ おく ひと えいきょう がつまえ
デパートやお店などから送ってもらう人がほとんど。その影響で、12月前から
おく てつづ はじ ひと おお
贈る手続きを始める人も多くなっている。】

もちゅう ことし きんしんしゅ ふ ぼ はいぐうしゃ こ どうきよ
《喪中がき》今年になってから近親者【*父母、配偶者、子/同居
そふ ぼ ざり ふ ぼ きょうだいしまい まご な ばあい もちゅう
の祖父母、義理の父母、兄弟姉妹、孫など】が亡くなった場合、喪中の
ねんがじょう おく ひか か もちゅう おく
ため年賀状を送ることを控え、代わりに「喪中がき」を送る
しゅうかん あいて もちゅう し せんぼう ねんがじょう じゅんび
習慣。【*相手に喪中であることを知らせるため、先方が年賀状を準備する
まえ がつちゅうじゅん がつなか とど おく だ
前の11月中旬から12月半ばまでに届くように送り出す。】

ねんがじょう ゆうじん ちじん しんせき せわ ひと しん
《年賀状》友人、知人、親戚、お世話になっている人などに「新
ねん おく しゅうかん おお ひと
年のごあいさつ」のカード(はがき)を送る習慣。【*多くの人
がんじつ とど がつ にちごころ おく だ じゅんび がつつい
が、元日に届くように、12月25日頃までに送り出せるよう準備をする。11月1
たち ゆうびんきょく としだま ねんが う だ べつ
日には、郵便局から「お年玉つき年賀はがき」が売り出されるが、別のはがき
つか ひと ないよう しんねん ことば きんきょうほうこく かぞく
を使う人もいる。内容は、新年のあいさつの言葉、近況報告のほかに、家族の
しやしん えと らいねん みどし とし かわ しきさいゆた
写真や干支のイラスト(*来年は巳年へび年)などを加えたもの、色彩豊かな
くふう おお
ものなど、それぞれに工夫したものが多し。】

十一、十二月份日 民間传统节日 習

日本一年之中法定的“国民节日”有十五天。遇上节日与星期天是同一天时，改在下星期一休息，称为“振替休日”(今年有三天)。下面向您介绍下半年的国定节假日、民间传统节日及习俗。

■国民节日・节假日：

“文化节”：11月3日(星期六)。为了“让国民明白热爱自由和促进文化活动的重要性”而定的节日。【*在博物馆、美术馆举办各类展览或音乐会；在学校及公民馆等处举办文化活动；各社区开展祭祀等其他的纪念活动。】



“勤劳感谢日”：11月23日(星期五)。为了让国民“珍惜劳动、庆祝生产和劳动的收获、彼此表达感谢之情”而定的节日。【*在社区、商店、神社等处举办各种形式的感谢祭祀、红叶祭祀、美食节等活动。

“天皇诞辰”：12月23日(星期天)⇒今年调休至24日星期一。为庆祝天皇诞辰而定。【*每到12月23日皇宮向前来祝寿的一般民众开放，天皇陛下在上午分三回光临皇宮城楼，携皇后和皇族们，向前来庆贺的民众招手致意。(*天皇陛下今年迎来79岁生日)】

■传统的民间节日及习俗

“七五三节”：11月15日，满三岁、五岁男孩或满三岁、七岁的女孩，由大人带着到神社或寺庙去参拜，祝福孩子健康成长的民俗节日。【*最近在11月15日前后去参拜的家庭很多。而且还给穿着华丽衣、手拿千岁饴糖的孩子拍照留念，或设宴祝贺的家庭也很常见。】



“御岁末”：到了年底，向经常帮助自己的友人或亲朋至友赠送礼物，来表达自己感谢之情的习俗叫“御岁末”。【*原本在12月10日至20日期间登门拜访当面赠送才是正式的做法，但现在几乎都是委托百货公司等商店代劳的。很多人在12月之前便开始预订了。】

“服丧明信片”：本年中失去亲人的人(如失去父母、爱人、孩子、一起生活的祖父母、爱人父母、兄弟姐妹、孙子孙女等)，因服丧不宜寄贺年卡，采用“服丧明信片”进行通知的习俗。【*为了通知对方家有丧事，最好在对方准备贺年卡的11月中旬至12月中旬期间寄至对方手中。】

“贺年卡”：向好友、熟人、亲戚、以及关心帮助过自己的友人寄贺年卡(明信片)的习俗。【*为了能赶在元旦把贺卡寄到对方手中，大多数人在12月25日之前就把一切准备就绪。每年11月1日，全国各地邮局开始出售带抽奖号的贺年明信片，当然也有使用别的贺年卡的人。贺卡上除了写上新年祝词和近况，很多人还印上家人照片、生肖(*明年是巳年即蛇年)或色彩鲜艳的图案，以表达迎新喜悦心情，渲染节日气氛。】

